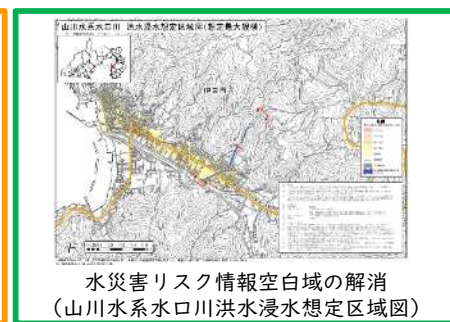
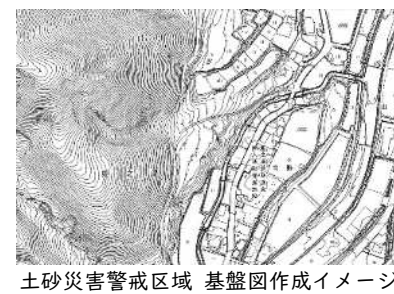
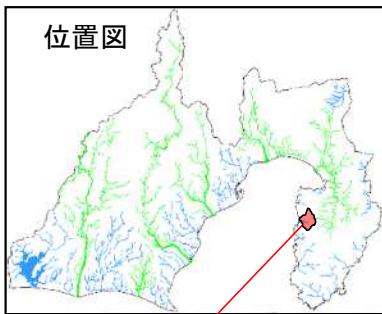


# 山川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～伊豆市土肥温泉街を災害から守る流域治水対策～

静岡県

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、山川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 山川流域では、河川沿いや海岸付近の下流域に住宅地が広がる地形的特性などにより、洪水による浸水被害のリスクが高いことから、河川改修を実施する。
- これらの取組により、県管理区間においては、年超過確率1/30 規模の降雨による洪水を河道内で流下させるよう整備を進める。
- 加えて、あらゆる関係者が連携し、水災害リスク情報空白域の解消等、ソフト対策と合わせて流域一体となって激甚化する水害に対し被害の軽減を図る。



## ●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修（河道掘削）
- ・砂防施設等の整備
- ・森林整備・保全及び治山事業による流出抑制対策
- ・都市計画法開発許可に伴う調整池の設置指導 等

## ●被害対象を減少させるための対策

- ・土地利用の適正指導
- ・水災害リスク情報空白域の解消（土砂災害警戒区域基盤図作成）

## ●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水災害リスク情報空白域の解消（洪水浸水想定区域の指定、ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域標識等の設置 等）
- ・ハザードマップの周知及び住民の水災害リスクに対する理解促進の取組（防災出前講座等の実施 等）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 山川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～伊豆市土肥温泉街を災害から守る流域治水対策～

静岡県

- 山川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】 河川改修を推進するとともに、水災害リスク空白域を解消するため支川における洪水浸水想定区域の指定及び洪水・ハザードマップの作成・周知を進める。
  - 【中期】 河川改修を継続的に実施し、治水安全度の確保を図るとともに、土地利用の適正指導等を通じて安全なまちづくりを推進する。
  - 【中長期】 流域全体の治水安全度を確保するため、都市計画法開発許可に伴う調整池の設置指導、森林整備・治山事業による流出抑制対策等の取組を継続的に実施することにより、浸水被害軽減を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川改修（河道掘削）	静岡県	→		
	砂防施設等の整備	静岡県	→		
	森林整備・保全及び治山事業による流出抑制対策	静岡県・伊豆市・森林整備センター	→		
	都市計画法開発許可に伴う調整池の設置指導	伊豆市	→		
被害対象を減少させるための対策	土地利用の適正指導	伊豆市	→		
	水災害リスク情報空白域の解消（土砂災害警戒区域 基盤図作成）	静岡県	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消（洪水浸水想定区域の指定、ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域標識等の設置 等）	静岡県・伊豆市	→		
	ハザードマップの周知及び住民の水災害リスクに対する理解促進の取組（防災出前講座等の実施 等）	伊豆市	→		



※【短期】概ね5年      【中期】概ね10年目まで      【中長期】概ね11年目以降      ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。